

科目名	運動器障害基礎論	担当教員	小林巧 小林匠 大坪英則 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	----------	------	--

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	専門基礎科目	必修	2年次	前期	2単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR23D	②					

科目概要	整形外科領域における代表的な疾患の病態、診断、治療について解説する。また、整形外科疾患と理学療法士および作業療法士の関わりについて解説する。
学習目標	①整形外科領域における代表的な疾患の病態と治療を理解する。 ②整形外科疾患と理学療法士・作業療法士の関わりについて理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	総論1	整形外科の基礎科学と診断総論	整形外科の基礎科学と診断について理解する。	
2	総論2	整形外科治療総論	整形外科治療について理解を深める。	
3	スポーツ傷害	スポーツ傷害	上肢・下肢のスポーツ傷害について理解する。	
4	肩疾患	肩関節疾患と外傷の病態	肩関節の構造と機能を説明できる。 肩関節疾患・外傷について理解する。	
5	肘疾患	肘関節疾患と外傷の病態	肘関節の構造と機能を説明できる。 肘関節疾患・外傷について理解する。	
6	手・手指の疾患	手関節・手指の疾患と外傷の病態	手関節・手指の構造と機能を説明できる。 手関節・手指の疾患・外傷について理解する。	
7	脊柱疾患1	頸椎疾患の病態	頸椎疾患について理解する。	
8	脊柱疾患2	胸椎・腰椎疾患の病態	側弯症、胸椎・腰椎変性疾患、炎症性疾患について理解する。	
9	股疾患1	股関節疾患の病態1	小児の股関節疾患、大腿骨頭壊死症について理解する。	
10	股疾患2	股関節疾患の病態2	関節症、大腿骨近位部骨折について理解する。	
11	膝疾患1	膝関節疾患の病態1	発育期の膝障害、膝蓋大腿関節障害、関節症について理解する。	
12	膝疾患2	膝関節疾患の病態2	膝蓋骨脱臼・スポーツ外傷について理解する。	
13	足疾患	足部の構造と機能、足部疾患の病態	足部の構造と機能を理解し、小児期・成人期足部変形、絞扼性神経障害等について理解する。	
14	足外傷	足部の外傷	足部・足関節の骨折・脱臼、スポーツ外傷について理解する。	

15	その他疾患	関節リウマチ、慢性関節疾患、先天性疾患、代謝性骨疾患	関節リウマチ、慢性関節疾患、先天性疾患、代謝性骨疾患について理解する。	
	評価方法	筆記試験（100％）		
	課題に対するフィードバック	1 講義中・講義終了後に質問を受け、回答する。 2 定期試験の解説は、オフィスアワーの時間帯で対応する。		
	教科図書	中村利孝、他・監『標準整形外科学 第14版』医学書院、2019年		
	参考図書	講義の中で、適宜紹介する。		
	学習の準備	1 （予習）指定した教科書、もしくは事前に配布した資料について予習しておくこと（90分） 2 （復習）授業中に配布した資料を見直し、専門用語の意味等を理解しておくこと（90分）		
	オフィスアワー	月曜日 13時~14時半、その他在室時はいつでも可		
	担当教員欄に※印を附した教員の実務経験			